

カーボנקレジットを (J-クレジット※) 創ろう! 売ろう!

記録に新たな価値を

※J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

Q

カーボנקレジットは
どうやって**創るの?**

A

水田の中干し日数を直近2年以上の
平均から7日以上延長すると創れます。
(申請・販売事業者が中干し延長実績の申請を代行します)

Q

カーボנקレジットは
どうやって**売**るの?

A

申請・販売事業者が生産者に代わって中
干し延長実績を申請し、認証を受けて創
出されたクレジットの販売も代行します。

カーボנקレジットの流れ

中干し延長の取組状況の報告書類をカーボנקレジット申請・販売事業者に提出することで、協力対価をお受け取りいただけます。

※GHGは、温室効果ガスの略称です ※上記は中干し延長によるJクレジットの例です



三菱商事からお申込みの方限定

中干しの証拠データは“アプリ”から

「アグリノート J-クレジットアプリ」に圃場ごとの中干し開始日・終了日や写真など、情報を一元管理・記録することで、申請に関する事務作業の負担を軽減できます。



J-クレジットに取り組む3つのメリット

1

地球温暖化対策 貢献できます！

国が正式に効果を認めた方法
で温室効果ガスの排出削減に
取り組めます。

2

追加収入を 受け取れます！

水稻栽培で中干し期間を延長
するとJ-クレジットが創出され、
追加収入を受け取れます。

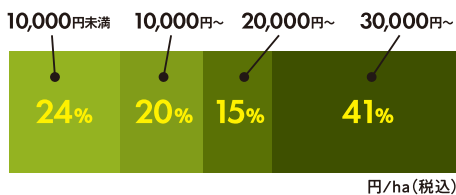
3

初期費用は ありません！

J-クレジット申請に必要な審査
費用(100~200万円)は申請・
販売事業者の負担となります。

実際にこれくらいの追加収入が受け取れます

受取金額の単価



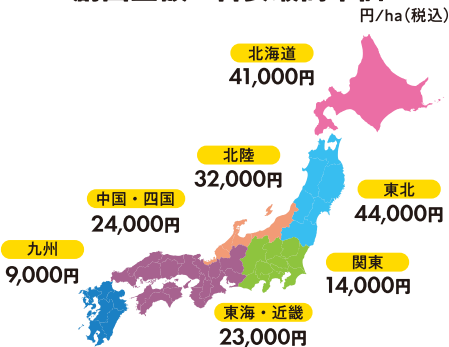
最も多かったのは35,000円/ha

アグリノートがご紹介したプロジェクトで、2024年度にJ-クレジットに取り組んだ全国の生産者様の受取金額は、1haあたり1,000円~39,000円となり、平均で23,000円、1,000円ごとの最頻値で35,000円となりました。

※J-クレジット制度の排出削減量(t-CO2/ha)は地域や農法など諸条件により変動します。またJ-クレジットの売却単価(円/t-CO2)は取引ごとに変動します。

※2023年度または2024年度にアグリノートからのご紹介で取り組んだ生産者様のデータを基に計算。

創出金額の目安最高単価



※シミュレーション条件：稲わらすき込み(9割以上)
排水不良(7.5mm/日未満) J-クレジット単価5,500円/t-CO2

創出金額には地域差があります

地域の気象条件、土壌条件、農法の違いから、そもそもメタンの発生量が地域によって異なるため、認定されるJ-クレジットも異なります。

※農林水産省「[水稻栽培における中干し期間の延長]」のJ-クレジット制度について(令和7年12月1日現在)の表「条件別排出削減量(CO2換算)」から算出。

※受取金額は左図の金額から手数料が差し引かれます。

生産者の声



ユナイテッド様
(北海道)

今まで中干し日数0日でしたが、中干しをしたことによって稲が青々として活力がみなぎるような感じがあり、良い効果の方があったような印象です。

取組面積：40ha/
2023年度(令和5年度)開始



いずみファーム様
(茨城県)

R5年からの取り組みで比較対象がないのでなんとも言えないですが、中干し延長する前と収量は変わりませんでした。

取組面積：40ha/
2023年度(令和5年度)開始

- ✓ 取り組んでいる人の詳しい話を聞きたい
- ✓ 受け取りまでの流れを知りたい
- ✓ どのくらいの額になるのか興味がある

導入の流れや必要な手続きの
詳細はこちら

